

主な
内
容

平成19年度各会計予算 2～3

平成19年度各会計予算の総括質疑・討論 4～7

こんなことが決まりました 8～11

一般質問 12～15

町の歴史・文化財紹介（睦沢村立中央公民館） 16



稲作体験学習（瑞沢小学校）と佐貫きよせ（町無形民俗文化財）

平成19年度各会計予算

一般会計 27億8,200万円

前年度に引き続き緊縮予算

平成19年第1回議会定例会は、3月2日から9日までの8日間を会期として開催されました。平成19年度の一般会計外4特別会計予算は、総括質疑を行った後、議員全員による特別委員会を設置し審査を行いました。また、提出された24議案と発議案2件を、質疑のあと可決しました。4議員が一般質問を行い、町政の課題を問いました。

予算編成方針

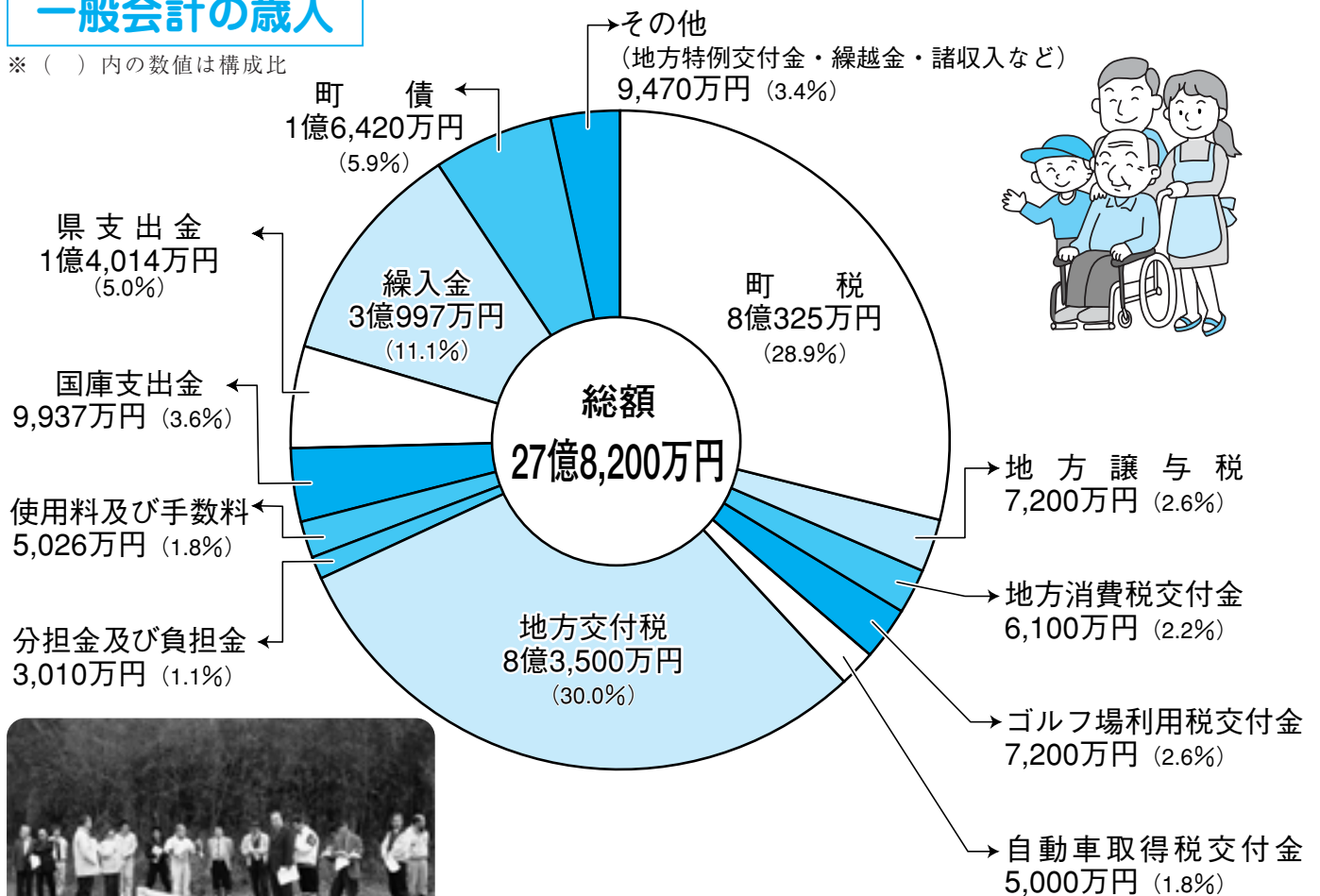
平成19年度予算は、歳入の多くを望めないため、昨年度よりもさらに予算規模を縮小し、最少の経費で最大の効果を挙げることを基本とし、次の事項を主要事業として進めます。

1. 集中改革プランによる財政健全化の推進
2. 中学校校舎耐震補強工事の着手
3. 幼保一体化事業の取り組み
4. かずさ有機センターの運営の充実及び有機（バイオ）たい肥の利用促進
5. 防災、公害対策事業の取り組み

以上の外、安心して生活できる地域づくり、子育て支援、福祉の充実と健康づくりなど。

一般会計の歳入

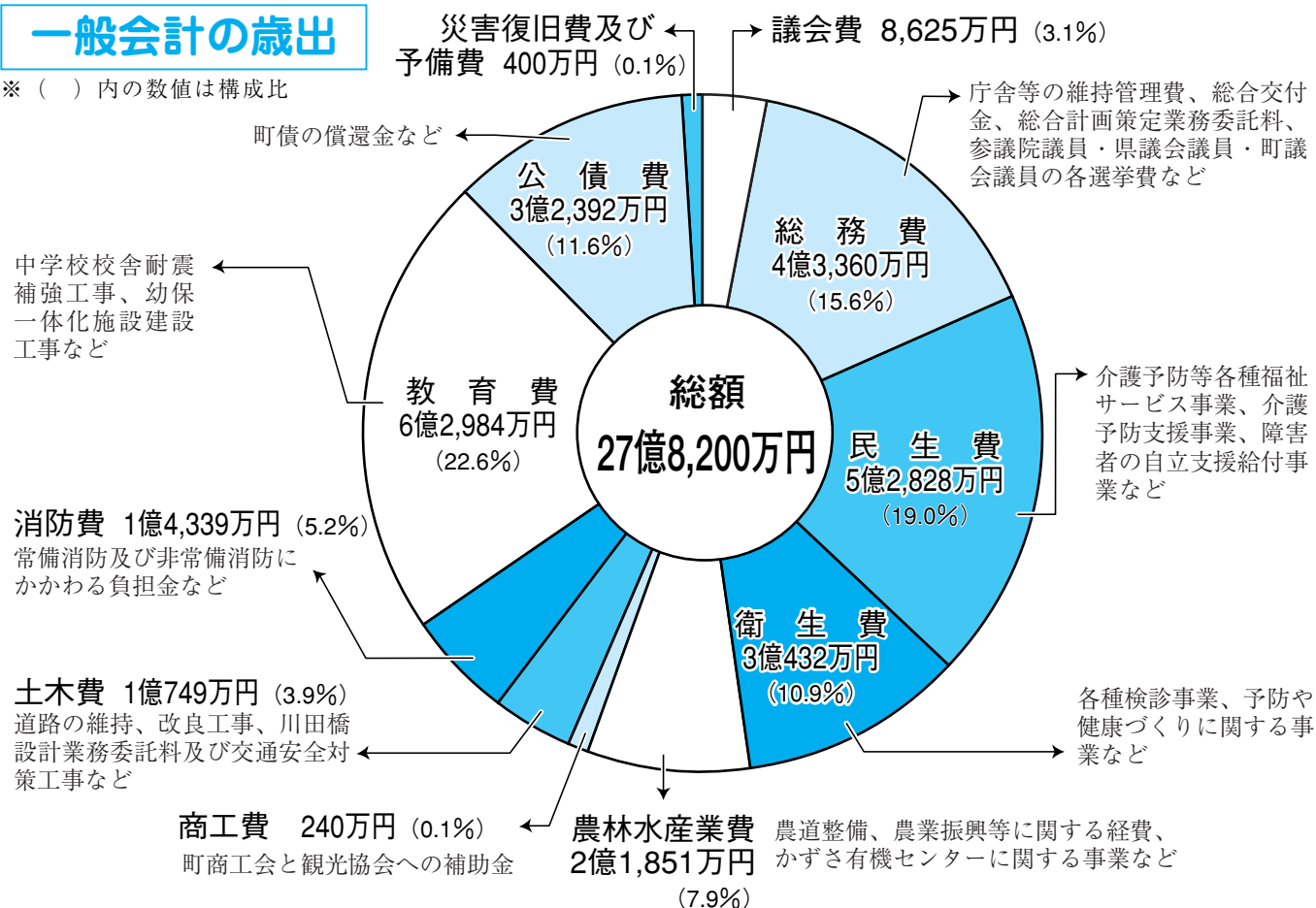
※（ ）内の数値は構成比



予算審査特別委員会現地調査

一般会計の歳出

※ () 内の数値は構成比



製品庫建設予定地
(かずさ有機センター)



川田橋 (上之郷)



睦沢中学校校舎



幼保一体化施設予定地
(睦沢幼稚園)

特別会計

国民健康保険特別会計

9億3,536万円

医療費の支払いや町民の健康増進のための経費など

老人保健特別会計

7億419万円

老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るための経費など

農業集落排水事業特別会計

8,121万円

2処理区の汚水処理場の維持管理、特定地域合併処理浄化槽事業の浄化槽設置工事、法定検査など

介護保険特別会計

5億892万円

居宅・施設介護サービス給付費、福祉用具購入費、住宅改修費などのほか、新設される地域包括支援センター運営にかかわる経費など

総 括 質 疑

一 般 会 計

総 務

〔中村孝雄議員〕平成18年度から始まった、町総合計画策定業務の進捗状況は。

〔町長〕19年度で終了しますが、毎年が改革の年であり総合的には継続してまいります。

〔企画財政課長〕予定された委託業務で現地調査、アンケート調査、聞き取り調査等は完了しました。

19年度で現計画の点検と評価を行い、基本構想及び基本計画を策定し、3月で完了する予定です。

〔議員〕農地・水・環境保全対策事業により、各区に支払われる総合交付金が減額になるのでは。

〔企画財政課長〕2つの事業が重複するフラワー&クリン作戦と草刈りは、総合交付金から除外します。防犯灯の電気代は、従来どおりです。



草刈り作業

全体的に両事業のバランスは、とれていると思います。

〔振興課長〕先行している瑞沢地区の中山間地域直接支払制度は、単価は高くても対象農

地が少なく、残りの平坦地をこの事業で実施してまいります。町の支出に大きな影響もなく、この制度を活用したいと考えます。

〔東條勝昭議員〕本予算は、最少の経費で最大の効果を上げることが基本とあるが、住民と専門家を含めた評価委員会が必要ではないか。



防災備蓄食料

〔町長〕少ない予算で価値あるものを作るという考えで、取り組んでおります。各予算に對して決算を比較し、洗い直しています。

〔議員〕防災備蓄食料は、前回より増量となるのか。また賞味期限はあるのか。

〔総務課長〕クラッカーとスティックパンで、1千360食を予定し増量です。

パン類の賞味期限は、3年から5年で本町では、5年物を予定しています。

〔江澤利文議員〕予算総額は、前年度と比較して2億円程の減であるが、今後も減額予算が続くのか。

〔町長〕歳入に応じた編成です。大型事業が終了したことにより、減額予算となりました。

〔市原時夫議員〕人口増対策で若者向けの低家賃住宅建設の考えは。

〔町長〕長者団地、中央団地の未売却地の再評価を行い、これから対応してまいります。

財 政

〔後藤英輝議員〕交付税に代わる臨時財政対策債があると思うが、計上されているのか。

〔町長〕減額ではあるが、計上しています。

〔議員〕物件費の委託料が、増加している理由は。

〔企画財政課長〕ふれあいスポーツクラブと総合運動公園への委託業務が主なものです。

〔市原時夫議員〕地方財政をどう見るかというところで、国と地方の信頼関係をいっているが基本的な認識は。〔町長〕国や県には、できる限りのことを求めていると思いますが、むつざわを得ないと思います。

住民一人ひとりに配慮し、信頼関係を保ちながら生活向上に努力してまいります。

〔議員〕定率減税が廃止になり、住民生活への影響は。

〔税務課長〕定率減税は、18年度分で廃止になります。

所得控除ではなく、税額控除であり、住民全体で1千590万円の影響があると思います。

〔企画財政課長〕所得譲与税は、1千500万円増となり、国から100%の交付になります。

町民税となり、リスクがありますので、徴税に努力が必要です。

福 祉

〔後藤英輝議員〕障害者自立支援法により国が撤退し、自治体の役割が大きくなっている。町としての手立ては。

〔町長〕国の方針に基づいて執行し、細部については町で努力してまいります。

総 括 質 疑

環 境

〔後藤英輝議員〕不法投棄の防止策は。また、河川の水質検査は、継続しているのか。

〔環境課長〕監視員・環境美化推進員を、各区から選出していただき対応しております。また、睦沢中学校の協力を得て、ゴミゼロ運動の啓発用パンフレットを作成し、各家庭に配布する予定です。

水質検査は、従来どおり8か所の定点観測を行い対応してまいります。

〔市原時夫議員〕一宮聖苑を5年後に改修とあるが、長南聖苑のような形になるのか。

〔町長〕長南聖苑と同様の施設を検討しましたが、諸般の状況を考え断念しました。焼却炉の改修工事です。

〔藍 和也議員〕ゴルフ場は、河川などの水質検査を行っているのか。また、2社のうち1社は自費、他社は町費で行ったと聞いたがその後の経過は。町は

検査を行っているのか。〔町長〕ゴルフ場からの排水は、検査を実施しており、問題はありません。

〔環境課長〕両ゴルフ場とも自費で検査を行っているっており、町に検査結果の報告があります。過去に、町の費用で行ったことがあります。ゴルフ場は実費を町に納入しました。

町の水質検査は、28項目あり基準範囲内ですが、大腸菌群は基準を超えている所もあります。

〔議員〕エコ農業は守られるのか。

〔振興課長〕化学肥料は、過剰投与すると吸収されず、地下水に流入し問題になっています。使用量を2分の1以下に押さえ、エコ農業に取り組んでまいりたいと思います。

農業関係の水質検査は考えておりません。

産業・建設

〔市原時夫議員〕松潟堰に新設される管理橋の一般通行は、可能に

教 育

ならないか。また、地元負担はあるのか。〔町長〕橋上の通行の確認はしておりません。地元負担はありません。

〔幸治正雄議員〕中学校の耐震補強工事で、外付け鋼板ブレス工法を採用する理由は。

また、構造耐震指標基準値 I_s （※）の0.7をどうとらえているか。

〔町長〕内部工事がなく、授業に影響のない工法であり、採用しました。

〔教育長〕一般の住宅より、 I_s 値を0.1プラスし、安全性に配慮して設計を進めております。

〔議員〕水道と電気工事が組み込まれているが、耐震補強工事と関連があるのか。

〔教育長〕直接の関連はありませんが、設備が古くなり赤水が発生したため、水道管の入れ替え工事等です。

※構造耐震指標 I_s 値

耐震診断では、建物の柱や壁の強度を計算し、耐震性能を構造耐震指標 I_s という指標を用いて表現します。

この値が、大きいほど建物の耐震性が良いとされています。

国保特別会計

〔市原時夫議員〕資格証明書の発行効果は。

〔町長〕滞納額が増え、不公平は正のため、発行に踏み切りました。

〔税務課長〕通知した結果、弁明書を提出された方が3名おり分納



診 療

することになりました。計画的な納税意識を持つ効果がありました。〔議員〕資格証明書の発行をやめるべきだと思いが。

〔町長〕状況を十分把握し、慰留期間を設け意向も聞き、税の公平な負担という観点から、ケースバイケースで対応します。

〔税務課長〕短期証明書に切り替えている方には、弁明書を送付して内容を聴取し状況を調査して、発行の判断をしています。

〔議員〕社会保険に加入する資格と権利があるのに国保に加入され、また退職者の増加などで、国保を圧迫していると思うが。

総 括 質 疑

〔町長〕国保に加入してから高額医療等の適用が多く、不測の事態になり、前年度は一般会計から3千100万円繰り入れましたが、今年度も厳しい状況です。

〔議員〕19年度は値上げと聞くが上げ率は。

〔税務課長〕18年度の状況を見ながらではあります。平均で11%程度になると推測します。

老保特別会計

〔後藤英輝議員〕受給者が減少した原因と人数は。

〔住民課長〕制度改正があり、対象年齢が引き上げられたため減少しています。年間60人程の減員です。

農集排特別会計

〔後藤英輝議員〕当初の計画と現在では、差が生じているが、その理由は。

〔町長〕開発公社事業と、町営事業の2団地ずつが入り組んだ運営となっています。これ



地域包括支援センター(改善センター内)

を一つに、まとめざるを得ないと考えます。

〔議員〕住民の負担を少なくする視点で、補助金の確保、検討は。

〔町長〕町民が利用する施設という判断で、合併問題もあり極めて複雑ですが、精査してまいります。

〔市原時夫議員〕特定地域生活排水事業は、18年度は補正で大幅な減にもかかわらず、変わらぬ予算だが。

〔町長〕実施することを見込んで、予算を編成しました。

〔議員〕町づくりとしての排水路の整備は。

〔町長〕様々な水路があり、今ある水路に接続できるように努力してまいります。

介護保険特別会計

〔後藤英輝議員〕地域包括支援センターの役割と実施内容は。この介護予防制度は改悪ではないのか。

〔町長〕体操など自身で体を鍛え、健康を保つという趣旨です。専門の職員が、ケースバイケースで指導に当たりますので、効果が期待できると思います。この制度は、改善と考えております。

個人差や境遇もあり、総体的な中で自治体として、細やかな対応に努めてまいります。

〔福祉衛生課長〕業務内容は、高齢者や家族の介護、福祉に関する悩みの相談など、介護予防事業を効果的に実施することを援助してまいります。

〔市原時夫議員〕要介護1から要支援2に変わった方の人数は。

〔福祉衛生課長〕要介護1の方が100人程います。今年度は、要支援2の方を40名見込んでいます。



予算審査特別委員会

〔江澤利文議員〕新予防給付の内容は。

〔福祉衛生課長〕この制度は、地域包括支援センターとして実施することになりました。

介護度が7段階となり、要支援が1から2、要介護が1から5までとなります。

要介護の方で、比較的軽い方を要支援2とし、介護が必要とするなど重度にならないように、予防するためのものです。

平成19年度予算審査特別委員会審査報告

委員長 市原 宏

委員会の構成

議員全員による特別委員会

委員長 市原 宏
副委員長 市原時夫

江澤利文
幸治正雄

審査結果

慎重審査の結果、平成19年度陸沢町一般会計外4特別会計予算は、それぞれ原案のとおり可決することに決定しました。

指摘要望事項

○税制改正や税源移譲に伴い、さらなる財源確保に努められたい。

○健全財政を維持しつつ、予算規模の縮小の中、より効率的な行政運営に努められたい。

○広域医療体制の充実を図り、早期に住民の不安解消に努められたい。

○幼保一体化施設については、子育て支援のさらなる充実と、効果が挙がるよう実現されたい。

予算案に対する討論

一般会計

反対討論

後藤英輝議員

政府は、国民にさなる税負担の押し付けをねらっています。自治体は、国や県に対しもっと強く要求すべきです。

○公共事業の発注方法の見直しを。

○巡回バスの値上げはすべきではない。

○幼保一体化では、指導体制の考慮を。

○行政改革では無駄をなくし、住民へのサービスの低下にならないような自主的な対応を。

○自然環境を生かした町づくりのビジョンを作るべきです。以上を踏まえ反対です。



睦沢保育所

賛成討論

幸治正雄議員

税源移譲により、町税は増えるものの、地方譲与税や地方交付税が、大幅に減額されています。

限られた財源の中で、集中プランによる財政健全化の推進、農地・水・環境保全向上対策事業、中学校舎耐震補強工事、幼保一体化の取り組みなどが計画されて、内容の充実した予算と評価します。また予算全体が縮小の中、地域包括支援センターの設置や障害者自立支援事業など、福祉施策の推進も図られており、賛成です。



睦沢幼稚園

国保特別会計

反対討論

市原時夫議員

17年度に大幅な値上げをし、19年度も予定されており、新たな値上げは中止すべきです。国保税の住民負担軽減こそ急務で、一般会計からの繰り入れは、継続すべきです。

資格証明書の発行は、慎重でしたが実施に至り、しかしながら滞納は増加しています。保険証の取り上げをやめ、町民の健康保持と町財政の健全運営を求め、反対です。

賛成討論

鶴澤弘議員

近年の経済情勢の変化や高度化、退職者による被保険者の増加、併せて医療技術の高度化により、医療費は年々増加しています。国保会計を取り巻く財政状況は厳しく、今後、慎重に税率改正をお願いすると同時に、町民の暮らし、健康を支える国保会計であり、賛成です。

老保特別会計

反対討論

市原時夫議員

この会計は、高齢者の医療費を他の国保会計と分けるという流れで生まれたものです。さらに高齢者制度へと拡大し、国民の意識と格差を助長するもので、後期高齢者に負担をかけることになる制度です。この制度の持つ危険性を指摘し、反対です。

賛成討論

江澤利文議員

老人保健は、適切な医療の確保や給付を行い、高齢者の健康と福祉の増進を図ることを目的とした制度です。長寿世界一を誇っていることは、この制度の貢献によると考えます。平成20年4月から、後期高齢者医療制度に移行される予定で、長期的に維持していくためには、必要な制度であり、賛成です。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

本来、国が負担すべきものを減らして、住民負担、行政負担が増えるという制度になっています。

今こそ、自治体の役割を自覚し、住民の暮らしを守るという立場で、介護保険の負担軽減を検討されることを提案し、反対です。

賛成討論

中村孝雄議員

高齢者に対し、介護予防施策を重点的に取り組むことにより、要介護状態の未然防止、住みなれた地域で暮らし続けられるよう、福祉サービスの努力されています。

4月から地域包括支援センターを創設し、新予防給付が始まり、高齢者が安心して生活できるよう、総合相談や介護予防プランの作成を行うなど、予防重視の予算は適正であり、賛成です。

こんなことが決まりました

条例の制定・改正など

(議案第1号)

睦沢町助役、収入役及び吏員の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

地方自治法の改正に伴い、助役に替わり副町長を、収入役を廃止し一般職の会計管理者を置き、また、吏員を職員に改めるもので、平成19年4月1日から施行です。

(議案第4号)

町長の給料の特例に関する条例の制定

平成19年度の町長の給料を、昨年と同様に10%削減するものです。

(議案第5号)

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

国家公務員の休息時間の廃止に伴い、町職員も同様に廃止する改正です。

(議案第2号)

睦沢町監査委員条例の制定

地方自治法の改正に伴い、収入役の廃止にかかわる改正です。また、監査の執行や検査の実施に関する規定など、一部未整備なものを新たに規定しました。

(議案第3号)

睦沢町副町長の定数を定める条例の制定

地方自治法の改正に伴い、副町長の定数を1名とするものです。

(議案第7号)

睦沢町使用料条例の一部改正

中央公民館及びゆうあい館の使用料は、現在、半日単位で、利用者の実態や利便性を考慮して1時間単位に変更です。なお付帯施設は、従来どおりで、施行は平成19年4月1日からです。

(議案第9号)

長生郡市広域市町村圏組合規約の変更に關する協議

地方自治法の改正に伴い、収入役は会計管理者に、吏員その他の職員は職員に改めるための規約の変更に關する協議で、平成19年4月1日から施行です。



睦沢ゆうあい館



公民館活動

補正予算・その他

(議案第10号)

農村振興総合整備事業計画の概要の変更承認

本計画は、平成16年度より事業に着手し、平成21年度に完了する予定です。今回の内容は、農道整備事業の変更、ため池整備事業を2か所から1か所に変更、広域たい肥センター事業の変更です。

(発議案第1号)

睦沢町議会委員会条例の一部改正

地方自治法の改正に伴い、総務常任委員会の所管事項のうち、収入役室を会計課に、また議長が閉会中でも委員の選任及び、所属の変更ができるように改正しました。

(発議案第2号)

睦沢町議会会議規則の一部改正

地方自治法の改正に伴い、常任委員会等が議案を提出できるように改正しました。

(議案第11号)

平成18年度睦沢町一般会計補正予算(第5号)

1億1千396万5千円を追加し、補正後の予算額は31億8千434万3千円となりました。各事務事業の実績による加減が主なものです。歳入の国県負担金は、児童手当等の実績に伴う減額、国民健康保険

こんなことが決まりました

基盤安定負担金の追加、県補助金で元気な市町村づくり総合補助金の追加、繰入金は各基金からの繰入額の調整及び各特別会計からの繰り入れによる減額などです。

歳出では、人事異動に伴う人件費の加減の外、総務費は財政調整積立基金及び教育施設整備基金の追加、衛生費は合併処理浄化槽設置整備事業などの実績に伴う減額です。

畜産業費は(仮称)かずさアイオムへの出資金を減額し、新たにかずさ有機センター運営費補助金を追加、土木費は下之郷寺崎線の完了に伴う減額、教育費は幼保一体化に伴う実施設計業務などの各事業実績に伴う減額などです。

(議案第12号)
平成18年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

5千175万円を追加し、補正後の予算額は、9億4千114万9千円となりました。



かずさ有機センター

平成18年度の事務事業の確定及び、保険給付等の最終見込みによる加減です。

歳入の国民健康保険税は、所得等の算定による減額、国庫支出金による負担金等の交付決定による減額、療養給付費交付金と共同事業交付金は保険給付費等の増による追加などです。

歳出の保険給付費は、退職被保険者の療養給付費や高額療養費の伸びによる追加、共同事業拠出金は確定による減額、諸支出金は、療養給付費負担金の精算による追加などです。

(議案第13号)
平成18年度睦沢町老人保健特別会計補正予算(第2号)

1千922万1千円を追加し、補正後の予算額は、7億3千129万9千円となりました。

平成18年度の老人医療費の最終見込みによる加減です。

歳入の支払基金交付金及び国庫支出金、県支出金の現年度分は、交付見込みによる減額などです。

歳入の医療諸費は、医療費給付等の支出見込みから減額、諸支出金は医療給費等が確定したことによる繰出金の追加です。

(議案第14号)
平成18年度睦沢町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

2千537万4千円を減額し、補正後の予算額は5千813万6千円となりました。

農業集落排水事業等の実績見込みによる加減です。



合併浄化槽

歳入の分担金、負担金及び国庫支出金は、特定地域生活排水処理事業の事業量減による減額、使用料及び手数料は北部地域の接続戸数の増加などによる追加などです。

歳入の農業集落排水事業費及び特定地域生活排水処理事業費は、実績見込みにより、それぞれ減額です。

(議案第15号)
平成18年度睦沢町介護保険特別会計補正予算(第2号)

1千734万5千円を減額し、補正後の予算額は4億9千666万7千円となりました。

地域包括支援センター設置に要する経費、医療保険制度改正に伴うシステム改修費及び介護保険事業の実績見込みによる加減です。

歳入の国庫支出金は、医療保険制度改正に伴う補助金が見込まれ増額、支払基金や繰入金などは介護保険給付の実績による減額などです。

歳入は、地域包括支援センター設置に伴う保険料及び軽自動車の購入費、医療制度改正に伴うシステム改修費を追加、保険給付費は制度改正により、給付費の伸びが抑制されたことから、実績見込みによる減額などです。

*紙面の都合により、議案の一部と質疑を省略しました。

こんなことが決まりました

(議案第16号)

町道路線の認定

新設された道路を寄付により取得したため、次の2路線の認定です。

○1759号線(川島字三春地先、延長78m)

○1760号線(下之郷字根方地先、延長57m)

(議案第17号)

町道路線の廃止

1408号線(佐貫字養老子地先、延長13m)の全線払い下げによる廃止です。

(議案第18号)

町道路線の認定変更

農道整備、道路改良及び払い下げにより、延長や幅員に変更が生じたため、次の3路線の認定変更です。

○177号線(大谷木字榎戸地先から北山田字田向地先まで、延長238m)

○688号線(上之郷字内川田地先、延長3m)

○1407号線(佐貫字養老子地先、延長4m)

人事案件

(議案第24号)

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 茂原市茂原

1565番地12

氏名 豊田正一氏

昭和32年9月12日生

千葉県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙

地方自治法及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の規定により、同広域連合協議会議員



町道1760号線(下之郷)

(1名)の選挙を行い、指名推せんにより、江澤利文議員を選出しました。任期は、本町議会議員の任期です。

睦沢町議会市町村合併問題調査特別委員会調査報告(中間報告)

委員 長 東條勝昭
本特別委員会は、次のとおり開催されました。

○2月8日

1月22日開催の第3回長生郡市合併協議準備会の協議内容と、2月5日の合併協議に関する議員説明会の内容について議論しました。

○2月20日

2月22日開催の第4回同準備会の協議内容について意見交換を行いました。

第4回同準備会では、任意協議会の設置は行わず、法定協議会を設置することに決定されました。

平成19年第2回臨時会

平成19年第2回臨時会は、3月29日に開催され、議案3件を可決し閉会しました。

(議案第1号)

長生郡市合併協議会の設置に関する協議

地方自治法及び市町村の合併の特例等に関する法律の規定に基づき、長生郡市7市町村の合併により、合併市町村の円滑な運営の確保及び、均衡ある発展を図るための基本計画の作成、その他合併に関する協議を行うため、同協議会の設置です。

質疑

〔中村 勇議員〕学識経験者は、市で10名、町村各2名となっており、前回と同数にできないか。また学識経験者の選定にあたり、議会に相談はあるのか。

〔町長〕人口比率等検討した中で、2名に決定しました。

学識経験者の選定は、幅広く人選するのが基本で、様々な形の中で相談します。

〔企画財政課長〕法定協議会の学識経験者の委員数は、広域組合議会の人数比率を参考にしました。

〔議員〕長生郡市の合併協議会なのに、千葉県知事の推せんする者を委員として認めたのか。また採決にも加わるのか。

〔町長〕複雑な事務もあり、的確に進行していくために委員として参加を願う、採決にも加わります。

〔企画財政課長〕基本計画策定で、都道府県事業も含まれる可能性もあります。連絡調整や専門分野にかかわる情報提供のために、委員をお願いしました。

〔後藤英輝議員〕前回は、3分の2以上の賛成であった。今回は過半数で採決する方法の問題意識は。

〔町長〕準備会の段階から、過半数で決定してきました。私は色々意見述べましたが、通用しませんでした。

こんなことが決まりました

〔議員〕住民が、公平に、いつでも参加できる住民説明が、前提ではないか。

〔町長〕広報等でお知らせしますが、住民への配慮もいただき、意見を集約して、より良い方向に進めてまいります。

〔市原重光議員〕提案する執行側の委員も、採決に加わるのか。

〔町長〕協議会委員は、市町村長で組織された執行側委員と、それ以外の委員に大別され、出席した委員全員が採決に加わります。

〔議員〕県職員の委員は、法的根拠があるのか。

〔企画財政課長〕委員は、市町村の合併の特例等に関する法律に規定の学識経験を有するものに含まれます。

〔議員〕会長が必要に応じ、関係職員を会議に出席させ、説明または助言を求めるとあるが、県職員の委員とは別なのか。

〔企画財政課長〕別のものです。提出議案の作成・調整会議等で、

説明または助言をお願いします。

〔高橋 清議員〕協議会委員数の決定方法と経費の負担割合は。

〔企画財政課長〕委員数は、広域組合議員の比率と同じです。経費負担も同様で、市は9分の3、町村は各9分の1の割合です。

〔市原時夫議員〕各市町村が対等の新設合併です。住民の声を聞くべきでは。

〔町長〕住民の意向は、気にしています。将来的に幸せになるような道を選びます。

〔議員〕住民のための合併であり、行政サービスの維持、住民の福祉の向上を図ることを基本とすべきだ。この提出議案を取り下げてやり直しては。

〔町長〕取り下げるつもりはありません。ご理解をお願いします。

反対討論

市原時夫議員

法定協議会設置については、参加自治体が合併の意志を持って設立されるものです。



長生郡市合併協議会

住民の福祉増進を図るといふ基本理念に沿っているかが、確認されていなければなりません。合併協議準備会の基本の方針では、この点があいまいです。県の職員が、議決権を持つ委員として参加する。新市名を「長生市」とした前回の合意を覆し、議決要件を過半数に変更するなど、対等平等の原則を逸脱しているの、反対です。

賛成討論

中村 勇議員

地域住民のために、新たな住みよい町づくりのための合併に、賛成です。

〔議案第2号〕

平成18年度陸沢町一般会計補正予算(第6号)

今回の予算の補正は、財源更正です。

歳入は、ふるさと農道整備事業の執行に伴い、農林水産業債を減額し、普通地方交付税を追加しました。

〔議案第3号〕

平成19年度陸沢町一般会計補正予算(第1号)

270万円を追加し、補正後の予算額は、27億8千470万円となりました。

歳入は、繰越金を追加しました。

歳出は、長生郡市合併協議会負担金です。

質疑

〔市原時夫議員〕法定協議会負担金の主な歳出の内訳と、期間はいつからいつまでか。

〔企画財政課長〕法定協議会の歳入総額は、3千430万円で、県の市町村合併支援補助金1千万円、各市町村の負担金は、市が9分の3

で810万円、町村は9分の1で各270万円です。

歳出予算の内訳は、会議費254万円、事務費1千576万円、備品購入費308万円、事業費1千559万円などです。

期間は、第1回の法定協議会で承認されてから年度末までです。

〔議員〕県補助金の使途は。住民説明会や講習会等の費用は、改めて予算計上するのか。

〔企画財政課長〕県職員の給料880万円、非常勤職員に180万円程度を見込んでいます。

今後の補正も考えています。

反対討論

後藤英輝議員

法定協議会の負担金であるが、規約に多くの問題があり、本補正予算には、反対です。

賛成討論

市原重光議員

町民の幸せを考え、対等合併を進めるという意味で、賛成です。

一般質問

町政の課題を問う

新たな開発と住民負担増の 押し付け合併にノーを

市原 時夫 議員

今回、長生郡市の合併の動きは、住民から生まれたものではなく、国や県の押し付けの中、議会の合意も得ず、住民にも知らせず、法的根拠もない合併協議準備会で進められた。しかも県の職員が、会議を主導し、来年4月1日の合併期日まで

も、合意するような法定協議会設置はすべきではない。

また、合併後のサービス向上、負担軽減という原則も姿を消した。合併のねらいは、圏央道と一体となった巨大物流ネットワークの拠点づくりなど、新たな大企業優先の大開発に税金を注ぎ込み、住民に負担増とサービス切り捨てを強いるものだ。法定協議会への参加についても、住民説明を行い、その後も適宜説明会と意見を聞き、最終的な合併の是非の判断は、住民投票を基準とすべきではないか。

住民投票は 考えていません

〔町長〕意見はいろいろありましたが、準備会として決めたことであり、従っていく考えです。また住民投票の考えはありません。

自立の町づくりの考えは

〔議員〕合併しても財政の解決にはならないことは、証明済みだ。陸沢町独自の小さな自治体だからこそ、子育て、福祉、地産地消など、子育て世代が住みたくなる町だ。これを生かし、住民参加と合意の自立の町づくりをすべきではないか。

新市の中に 盛り込みます

〔町長〕陸沢町の良さは、新市の中に盛り込みたいと考えます。住民との一体的な町づくりは、現在の組織で進めてまいります。

山武地域医療より 長生病院の充実を

〔議員〕山武地域医療センターに、長生郡市も参画をとの動きがあるが、長生病院の医師不足の解消と充実こそ、力を注ぐべきでは。

参加への態度は保留

〔町長〕長生病院の方向性が先決であり、参画要請への態度は保留です。

小学校卒業までの 医療費は無料に

〔議員〕就学前まで医療費無料化は、陸沢町の先進的な政策で、郡内に広がり、千葉県も動かしつつある。

今度は、小学校卒業までと、さらに窓口200円の負担を無くしてほしいが。保育料が増えないようにすべきではないか。



公立長生病院

保育料は 上げないようにします

〔町長〕医療費補助の年齢延長は考えていません。増税に伴う保育料の値上げはしません。また、多子軽減の拡充も行います。

〔議員〕学童保育指導員の労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金の加入など、基本的な身分保障を行い、若い方が安心して仕事ができる環境にすべきでは。

〔町長〕学童保育指導員については、県のガイドラインに沿って努力します。



瑞沢小学校授業

問 質 一 般

市町村合併問題について

中 村 勇 議員

第4回合併協議準備会で合意された、合併基本構想素案を、法定協議会に合意事項の協議案として、位置付けることが採択された。

この問題については、何回となく町長に質問してきたが、いまだ納得のいく答弁がない。後世に残る最も大きな課題であり、しっかりとしたリーダーシップをとっていただきたい。

国の示す方針に基づいて

〔町長〕基本的には、時代の流れに沿って、国の示す方針に基づき、進行することが良いと考えます。

県も1市6町村の合併に積極的です。私もそれに従って進んでまいります。



長生郡市合併協議準備会

〔議員〕議会が決めたことを、町長は尊重するというのが、町長のリーダーシップで決断していただきたい。

〔町長〕急がず焦らずに、良い方法を見出してまいります。

歯がゆいようですが、そのような信念でそれなりの時間が必要です。

〔議員〕合併の期日が準備会で、平成20年4月1日と素案が決まった。法定協議会は、1日も早く設置すべきでは。

〔町長〕賛成多数で決まった期日は尊重しますが、「対話による納得の町政」で、この基本に沿って、その時々に対応してまいります。

農業振興について

〔議員〕農地・水・環境保全向上対策事業が、19年度から本格的に始動するが、その取り組みは。

整合性を図りながら

〔町長〕瑞沢地区では、補助金の二重交付との懸念がありますので、中山間地域直接支払地域の農地は、対象から除外されます。

総合交付金との整合性を図りながら、町全体に適用してまいります。

〔議員〕営農活動への支援も受けられると聞いたが。



田植え作業

〔町長〕二段構えの制度となっており、平成20年から町全域で取り組みます。

かずさ有機センターで製造されたたい肥による土づくりを行い、「千葉エコ」の認証を受け、化学肥料、農薬の低減に取り組みます。

〔議員〕たい肥を連続して散布すると、窒素分が多くなってくるのでは。

〔振興課長〕肥料成分を放出していく速度が、1年に20、30%で窒素分がたい積します。

土壌の検査を行い、問題のないようにしてまいります。

給与の格差は

〔議員〕派遣職員の給与に、格差が生じているが。

対応は難しい状況です

〔町長〕職員の格差は承知しております。市町村長会議でも問題になりましたが、茂原市に準ずることで決着いたしました。

年度替りでもあり、検討してまいります。



マニアスプレッダーによるたい肥の散布

一般質問

財政分析をすべきでは

後藤 英輝 議員

町の財政分析をきちんとすべきでは。住民の立場から検討すれば、諸数値は改善できるのでは。

改善できると思います

〔町長〕努力により改善できることは、ご指摘のとおりだと思います。

〔議員〕財政シミュレーションの検討状況は。

〔町長〕先行きが不透明のもので、いかなものかと考えます。今後、財政関連の情報公開などには、努めてまいります。

自主財源の確保を

〔議員〕町独自に財政力を高めるために、人口増・雇用対策など取り組みが必要では。

人口・雇用増に努力します

〔町長〕国や県などへの働きかけはもとより、自主財源確保についても積極的な対策を講じてまいります。

人口増対策、雇用対策についても町産業の活性化、地域の活性化が、不可欠であると考えます。



長者団地

平成19年度には、中央団地の残り5区画について、販売価格の方向性を決定したいと考えております。長者住宅団地については、販売に努めております。今後とも人口・雇用の増加に結びつくように配慮してまいります。

格差貧困は政治問題

〔議員〕格差と貧困問題は、本町も例外ではなく、どう認識しているか。

経済の動向で生じています

〔町長〕経済の不況、単身高齢者の貧困の深刻化、母子家庭の増加、非正規労働者の激増など、多くの要因があります。

〔議員〕生活保護の基準緩和で、国や県に要求する考えは。

〔町長〕相談や申請件数は、毎年増えています。決定は県であり、町としては、相談時に就職のあっ旋や、福祉サービスにつながるよう対応してまいります。



道路の路肩崩壊現場

〔議員〕国保の資格証明書発行や保険証取り上げはすべきでないが。

〔町長〕できれば発行したくありません。十二分に配慮しながら、取り組んでまいります。

障害者控除認定書発行趣旨の徹底を

〔議員〕交付要綱を作成しているが、その徹底を。

検討します

〔町長〕長生郡の統一基準として、各町村がそれぞれ交付要綱を制定し、認定書を交付しています。白子町のようにならぬように文書でということですが、検討させていただきます。

崖崩れ・堤防決壊等の対策を

〔議員〕大雨による災害が発生しているが、早急な対応を。

早期施行に努めます

〔町長〕ご指摘の箇所は、昨年10月に被災した箇所です。

県では、19年度早々に、施行すると伺っています。関係住民に大変ご不便をおかけしています。県に早期施行をお願いします。

アスベスト対策は

〔議員〕アスベスト問題は、今後も重大な課題だ。公共施設の対策は完了したか。民間の施設・住宅の対策は。

公共施設は完了

〔町長〕公共施設については、確認されたすべての施設について、撤去工事を完了しました。

民間の施設・住宅については、暴露した場合の救済支援など、チラシや広報紙を活用し、住民への周知を図ってまいります。

問 質 一 般

市町村合併は住民投票で

藍 和也 議員

合併協議準備会では、期日ばかりが先行し、住民がないがしろにされている感がある。

町長が掲げている「対話による納得の町政」という中で、住民一人ひとりを大切にし、住民参加の行政を進めていると思うが、住民多数の意見を尊重する住民投票の考えは。

今の時点では
考えていません

〔町長〕「対話による納得の町政」は、私の町政への取り組み根本姿勢です。住民が主人公となる町政であるべきだと、常に考えております。

住民投票は、単純な決定事項であれば、選挙の投票と同じで極め



て公平ですが、市町村合併という複雑な問題が絡んでおります。簡単に住民投票で決めるべき問題ではないと考えております。

〔議員〕住民投票を行う考えがないということなので、合併に対する説明の機会を設けて、住民が納得できる説明をしていただきたい。

〔町長〕合併の形態を説明するだけです。納得できるか、できないかは、住民が判断することではないかと考えます。



川島交差点

遊歩道を車道に

〔議員〕川島入り口交差点から長者団地へ入る道路は、遊歩道になっており、車の進入ができないのが現状です。住んでいる住民の多くの方が、川島入り口交差点から、車で団地内に進入したい要望があります。

交通安全対策等に配慮し、通行できるようにする考えは。

住民の意見を聞いて

〔町長〕川島入り口から長者団地への遊歩道



中堰(通称川島堰)

は、歩行者のみの利用です。

本道路は、南部開発公社陸沢支部が長者団地造成時に、県道からの取り付け道路として整備しました。

現在、長者団地は17世帯です。本道路の利用形態は、造成時から現況のとおりです。

形状を変更する場合は、近隣住民の方々と購入者の合意が必要で

〔議員〕豪雨時、雨水が鳴戸川から一気に、さかき団地内の排水路に流れ込み、住民は大雨のたびに、車を区民センター駐車場等に避難している。

鳴戸川堰とさかき団地の中間にある中堰(通称川島堰)、さかき団地内の水門部分を生かした排水対策、整備の考えは。

さかき団地の排水対策は

排水問題は対応します

〔町長〕最近、農業用水として利用しなくなった中で、すべてさかき団地の排水路へ流れている状態です。

昔から二つの堰で調整しておりましたが、現状はストレートに流れています。

地域の方と知恵を出し合って、できるものは対応してまいります。

陸沢村立中央公民館



陸沢村立中央公民館起工式

1946(昭和21)年、公民館の始まりは、7月に文部省からの通達「公民館の設置運営について」に基づき、各市町村は公民館を設置して、独自の財力と創意工夫で維持運営を図ることとなりました。しかし当時の市町村は、財政が窮乏しており、新たに施設を建設することが難しかったので、学校の一部を利用して公民館としたところが多くあり、本町でも、土

教育には、学校教育の外に、社会教育もあります。社会教育とは、学校での教育以外に、青少年や成人を対象に行われる組織的な教育活動で、社会教育施設といわれている公民館や、資料館などでの教育活動のことをいいます。

陸・瑞沢の両小学校に、それぞれ公民館を設置していました。1955(昭和30)年7月に陸沢村として合併したことを期に、本格的な公民館が必要となり、1974(昭和49)年7月31日、新しい公民館の起工式が行われた。

1975(昭和50)年7月20日、陸沢村合併20周年記念祝賀式典の日に、落成式を行いました。

今回掲載のいずれの写真も資料館に残され、写真資料として調査・整理されて利用可能となっています。

現在の公民館の建設に伴い、瑞沢小学校に併設されていた瑞沢公民館は分館となりましたが、その後、瑞沢公民館は廃止されました。1983(昭和58)年4月1日、町制施行により、陸沢町立中央公民館と改称され現在に至っています。

陸沢町立歴史民俗資料館

学芸員 久野一郎



建設中の陸沢村立中央公民館

議会を傍聴しませんか

第2回(6月)定例会は

6月13日(水)から

開催の予定です。

詳しくは、議会事務局 44-2510へお問い合わせください。

議会だよりの編集に携わり、早や三年目を迎えました。それにしても、日本語はこんなにも難しいものかと、痛感するばかりです。

同音異義語に送り仮名、そして議会用語など。またまた辞書の出番です。

はあ、辞書の助けを借りずに、編集作業はいつのことやら……。

そして今号の編集作業から、パソコンを使用することになりました。変換キーを使うので、これで少しは辞書の助けが減りました。

まだまだキーボードとにらめっこの一本指打法です、思うように行きません。

皆さんが、さらに読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指し、奮闘します。

K・A